

特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ

平成 30 年度 (2018 年度, 第 18 回) 通常総会議案書

日 時 : 令和元年 5 月 27 日 (月) 10 : 00 ~
場 所 : 特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ 1F

1. 開会挨拶

2. 定足数の報告・議長選出

3. 議事録署名人選出

4. 議題

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 31 年度事業計画 (案) 承認の件
- 第 4 号議案 平成 31 年度予算 (案) 承認の件
- 第 5 号議案 役員 (理事・監事) 選出承認の件

5. 閉会挨拶

平成30年(2018年)度事業報告書

自平成30年4月 1日
至平成31年3月 31日

I. 事業

1. 事業概要

平成30年度は各事業理事を先頭に事業運営をしつつ、事業規模適正化を見越して想定した事業計画を法人全体としては達成した。

「訪問介護事業」「総合支援事業」

産休取得者の復帰を踏まえ、体制を確立し、年度計画より上方修正した事業運営となった。法人の基盤として、特に障がい関連事業の伸びが顕著であるが、介護事業も想定よりも安定した事業運営をすることができた。

「スマイル事業」

職員の自立を念頭に、キャリア段位と情報発信を進めつつ、地域における連携をすすめ、各種イベントも自主的に運営をすすめ、各行政機関をはじめ地域の活動団体や事業所と一緒に取り組む事ができた。

「子ども預かり送迎支援事業」

運営人員体制に急遽欠員が出る中、核となる職員を中心に、様々な職員の力を借りて、1年を乗り切ることができた。また、業務の正確性に取り組みつつ、足立区内の他事業所と連携しながら、事業の適正な運営の検討を進めた。

「児童デイ事業」

事業所の質が問われ、事業に対して厳格な視点での指導がある中、更新を無事終える事ができた。経費を見直して事業を進めたが、利用児童の欠席が相次ぎ、当初計画を達成する事が出来なかった。

「サロン事業」「独自(子育て)事業」

新たに商業施設内のサロンの運営を開始し、区内外からの利用者から評価を頂いた。加えて、独自事業については足立区各所管からの依頼が相次ぎ、規模は小さいながらも委託契約案件が大幅に増加した。

- ・各事業における事業計画、人員計画、損益を理事主導でタイムリーに把握し、賃金改定を進めつつも効率的に運営し、利益確保と特別手当への充当を進める事ができた。
- ・プロジェクトチームにより、様々な制度の立案や実施を進める事ができた。今後はその継続と効果の測定とともに、プロジェクト自体の評価を進める必要がある。
- ・足立区の介護事業フェスティバル運営の委託事業を落札し、運営を滞りなく実施する事で、一般企業に遜色ない実行力をアピールし、知名度を向上させることができた。
- ・外注していた労務業務を事務局内で内製化し、経費削減とタイムリーな処理を実施する事ができた。

2. 事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績(千円)
介護関連	訪問介護 ・介護保険、訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	28人	足立区内 利用者 のべ377人	17,096
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぶらちな」	24時間毎日	施設及び 利用者宅	17人	のべ 登録250人	65,921
障がい 関連	総合支援 ・相談/総合支援、居宅介護 ・ガイドヘルプ、生活支援(身体 介護・家事援助・外出介護)	24時間毎日	利用者宅及 び介助先	30人	足立区内 利用者 のべ1032人	86,033
	ぶらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 (送迎時間含)	ぶらちな事 務所1F,2F	10人	足立区内 利用者 のべ2483人	24,985

子育て 関連	子ども預り送迎支援事業 (旧あだち子育て応援隊) ・一時保育	6:00-22:00	利用者宅 サポーター宅	コーディネーター4人 サポーターのべ1,524人	足立区内 利用者のべ 10,370人	45,743
	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00	新田キッズ ルーム (新田3)	6人	登録児童 240人	6,396
		子育てサロン 平日10:00-16:00			足立区内 利用者のべ 4,426人	
	ちびっこガーデン (子育てサロン西新井) ・子育てサロン事業 ・一時預り事業	子育てサロン 9:00-18:00 (閉館日除)	ちびっこ ガーデン (栗原1)	18人	足立区内外 利用者のべ 95,180人	11,041
		一時預り 10:00-16:00 (平日のみ)			足立区内 利用者のべ 956人	
	ポンテポルタ千住 (子育てサロン千住大橋) ・子育てサロン事業	子育てサロン 10:00-18:00 (閉館日除)	ポンテポルタ (千住橋戸町)	7人	足立区内外 利用者のべ 51,726人	6,481
集団保育事業 ・地域保健センター ・男女参画プラザ集団保育事業 ・区役所各所管	9:00-18:00	区内各保健 センター等	のべ 約200人	足立区内外 利用者のべ 450件	3,592	
一時保育独自サービス	6:00-22:00	利用者宅等	のべ 約400人	足立区内外 利用者のべ 700件		
その他	介護の仕事説明会運営	H30.11.31 H31.1.27 9:00-16:00	シアター千住 (千住3)	各回15名	足立区内外 来場者153名	3,218

3.事業の成果

(1)訪問介護事業/障がい者総合支援事業

- ・運営体制的には人員減少したが、丁寧な指導・同行 知識技術の向上研修を行うことで、ヘルパー稼働率は約20%UPとなり、売り上げも計画を上回る結果となった。
- ・他訪問事業所に利用者が12名移行となったが、地域密着を意識しケアの充実を図ることでヘルパー移動時間の短縮と利用者単価を増加することができた。
- ・総合/相談支援では、相乗効果でそれぞれ利用者増加となり、特に相談支援において依頼を誠実にこなして行く事で各支援機関との関係が強固になり、新規依頼も増加した。
- ・ユニフォーム支給による連帯感増とぶらちなくらぶの一員としての意識向上を図った事に加え、書類・マニュアルの整備が整い、迅速に対応できる体制ができた。それに伴い利用者・資格取得ヘルパーも増加し新規受け入れ態勢もできた。

(2)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・キャリア段位制度を取り入れ1名の職員をレベル3認定の申請をおこない、認定項目に沿って基礎から出来ていること、出来ていない事を確認しつつ学ぶことができた。
- ・業務を担当化することで各担当者が責任感をもって取り組もうとする姿勢が見られた。また、毎月おこなわれる事業部定例会で各職員が講師となって勉強会を行なう事で、準備すること、話す事、伝えることのむずかしさを学ぶことができた。
- ・3か月毎に開催しているスマイルカフェが近隣の方々に周知され参加施設の増加、社会福祉協議会や他事業所の介護支援専門員の参加もあった。
- ・また新しく実施したハロウィンのイベントに大勢の来客者があり大盛況となった。
- ・近隣の施設、ボランティア団体と合同で31年3月より子供食堂を開始。毎月1回行う事と決定。

(3)児童ディサービス

- ・予想外のキャンセルが多く、売上としては減となったが、利用児童に対するより手厚い支援を行った。
- ・足立区子ども部会の連絡会に3ヶ月に1度参加し、他事業所連携、勉強会や研修に参加しスキルを高めることができた。
- ・児童一人一人に合わせた自立支援の場として個別支援計画に沿った支援ができた。
- ・ペットボトルのキャップを児童館に届けたり、皆様からご協力を得たベルマークを東加平小へ届け地域と連携を図った。
- ・活動内容をブログで発信した。

(4)子ども預かり送迎支援事業

- ・コーディネーター職員の長期療養に伴い、運営体制に大きな支障が生じたが、中核職員と新職員の協力体制で安定運営を保つことができた。
- ・他事業所に先立ち賃金改定を行いつつ、事業の採算性の検討を進め、区報酬の改定の提案を継続して行い、来年度の改訂につなげる事ができた。
- ・一方で、広報や定例会後の情報共有は滞ってしまい、内部事務の効率化、業務の標準化が一世代前に戻った事が課題として残った。

(5)新田キッズルーム

- ・地域やOB保護者との関係性を高め、運営を維持していき、安定した運営を維持する事ができた。
- ・新田地域を中心とした子ども預かり送迎支援事業のコーディネート業務拠点として再立ち上げを行うことができた。
- ・広報活動もブログを活用し、積極的に情報発信する事が出来た。

(6)ちびっこガーデン

- ・サロン内のスタッフレベルを高め、均一化していくため内外の研修やミーティングに積極的に参加した。
- ・新しい指定管理者に対して、これまでの経験を基に積極的に提言し、取りまとめていく事ができた。
- ・運営時間拡大となったが、多くの人員の協力を経て取りまとめ、サロン運営を行う事ができた。
- ・一方で、広報活動が滞り、情報発信の積極的発信が課題として残った。

(7)ポンテポルタ千住大橋サロン

- ・商業施設内の区で初めてのサロンとして、ノウハウを確立し、安定運営する事ができた。
- ・サロンスタッフとしての勉強会や研修に積極的に参加し、地域特性に合わせた接遇を心がけ実行した。
- ・外部企業や組織との連携を深め、地域連携、施設連携を進める事ができた。
- ・広報活動はスタッフで工夫して発信してはいるものの、SNSやWebの活用がなかなか進まず、来年度に向けての課題として残った。

(8)地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業

- ・集団保育の実績を重ねた結果、区役所の様々な部署から問い合わせが相次ぎ、多くの所管から委託の依頼を受け、法人としての評価が高まったと実感している。
- ・経験の浅いサポーターのレベルアップの場として進めているが、更に預り送迎支援(個別保育)へ広げる事を念頭に置く。

(9)介護の仕事説明会運営

- ・区内介護事業所30カ所が一堂に介した面接/相談会の事前準備、広報、会場設営、運営を計2回、滞りなく実施する事ができた。
- ・福祉サービスのみならず、幅が広い事業が実施できる法人として信頼をえる事ができた。
- ・運営にあたり、ボランティアにも協力いただき、低コストで効率的に実施するノウハウを確立した。

II.組織運営関係全般

- ・アセッサーとキャリアパスを考慮し、補助金の活用を推進する事ができた。
- ・ふらちなカレッジの研修を検討し、外部機関との相談を進めつつ、様々なテーマでスキルアップできるようなカリキュラムを立案し実施した。
- ・法人内プロジェクトについては、様々な工夫をこらし実施し、職員一人一人が自立して考え行動するためのきっかけを目指したが、全体として積極的に関わるための仕組みづくりが必要と思われる。
- ・企業内保育室については、助成募集タイミングが合わず、一旦見送りとし他事業も含め継続検討となった。

平成30年度 決算報告書

第 18 期

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ
理事長 小谷典史

平成30年度(2018年度)決算報告書

貸借対照表

平成31年3月31日 現在

I 流動資産	80,647,870	I 流動負債	44,541,987
II 固定資産	127,303,707	II 固定負債	63,600,000
III 繰延資産	374,648	III 正味財産	100,184,238
合計	208,326,225	合計	208,326,225

活動計算書

自:平成30年4月1日

至:平成31年3月31日

(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	271,636,664	第1項 事業費	221,617,501
		第2項 管理費	40,746,174
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	282,919	第1項 支払利息・雑損失	1,120,656
		第2項 法人税等	1,999,145
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	93,748,131	次期繰越利益 (当期利益)	100,184,238 (6,436,107)

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成31年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	額	
I 流動資産				
現金	現金手許有高	688,448		
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店2037635	33,314,196		
	みずほ銀行/綾瀬支店8116855	1,723,312		
	城北信用金庫0255066760	79,984		
	谷中郵便局1013064084491	3,459,108	39,265,048	
立替金	従業員立替金	123,520		
預け金	リサイクル預託金	36,720		
未収入金	東京都国民保険連合会	28,819,457		
	足立区(委託料他)他	2,194,494		
	家庭支援センター足立	5,355,784		
	利用者負担分	4,979,655		
	自動車保険料返金	122,020	41,631,650	
貸倒引当金			-248,828	
流動資産 合計				80,647,870
II 固定資産				
(有形固定資産)				
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡	33,619,541		
建物付属設備	スマイル内装工事			
	電気・給排水・空調・ガス設備			
	昇降機			
	本部空調設備			
	本部3Fサンルーム	5,057,298		
構築物	スマイル造作工事、看板			
	前面歩道改修	4,479,305		
車両運搬具	軽自動車1台、ステップワゴン1台			
	ヴォクシー1台	4,851,075		
土地	足立区加平1-8-33 157.18㎡			
	足立区加平1-8-46 71.05㎡	77,829,403	125,836,622	
有形固定資産 計				125,836,622
(無形固定資産)				
ソフトウェア	介護ソフト2件			
	ライス'マンIDC ジャニス自立支援ソフト	155,085	155,085	
無形固定資産 計				155,085
(投資その他の資産)				
保証金		1,300,000		
敷金		12,000		
			1,312,000	
投資その他の資産 計				1,312,000
固定資産 合計				127,303,707

Ⅲ 繰延資産	公共施設負担金（水道管工事）	374,648	374,648	
Ⅲ 繰延資産				374,648
資産の部 合計				208,326,225
Ⅱ 流動負債				
未払法人税等	当期確定申告分	1,999,100		
未払消費税等	当期確定申告分	2,335,500		
未払費用	3月分給与等	30,475,610		
預り金	源泉所得税、住民税	1,187,777		
一年以内長期借入金		8,544,000	44,541,987	
流動負債 合計				44,541,987
Ⅲ 固定負債				
長期借入金	日本政策金融公庫	63,600,000	63,600,000	
固定負債 合計				63,600,000
負債の部 合計				108,141,987
Ⅲ 正味財産の部				
前期繰越正味財産			93,748,131	
当期正味財産増加額			6,436,107	
正味財産合計				100,184,238
負債及び正味財産合計				208,326,225

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	688,448	未払費用	30,475,610
普通預金	38,576,600	未払法人税等	1,999,100
預立替金	123,520	未払消費税	2,335,500
未収入金	41,471,410	預り金	1,187,777
預け金	36,720	一年内返済長期借入金	8,544,000
貸倒引当金	-248,828		
		流動負債合計	44,541,987
流動資産合計	80,647,870	固定負債	
		長期借入金	63,600,000
固定資産		負債合計	108,141,987
(有形固定資産)		正味財産の部	
建物	33,619,541	前期繰越正味財産	93,748,131
建物付属設備	5,057,298		
構築物	4,479,305	当期正味財産増加額	6,436,107
車輛運搬具	4,851,075		
土地	77,829,403		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	155,085		
敷金	12,000		
保証金	1,300,000		
(投資等)			
繰延資産	374,648		
固定資産合計	127,678,355	正味財産合計	100,184,238
資産合計	208,326,225	負債及び正味財産合計	208,326,225

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
I. 経常収入の部		
1. 会費・入金収入		103,000
正会員会費	103,000	
2. 事業収入		271,263,004
介護事業収入	17,096,684	
支援事業収入	86,033,792	
ケアマネ事業収入	753,899	
スマイル事業収入	65,921,099	
子育て事業収入	45,743,796	
新田事業収入	6,396,782	
ちびっこ事業収入	11,041,092	
児童デイ事業収入	24,985,465	
千住大橋事業収入	6,480,000	
独自事業収入	6,810,395	
3. 助成金・寄付金収入		270,660
経常収入合計		271,636,664
II. 経常収出の部		
1. 事業費支出		221,617,501
介護事業	19,722,085	
支援事業	62,141,814	
ケアマネ事業	1,615,442	
スマイル事業	51,498,838	
子育て事業	36,363,412	
新田事業	6,443,270	
ちびっこ事業	9,125,128	
児童デイ事業	21,774,784	
千住大橋事業	8,777,452	
独自事業	4,155,276	
2. 管理費支出		40,746,174
給料手当	12,830,841	
賞与	300,000	
法定福利費	2,518,650	
福利厚生費	1,807,147	
採用教育費	223,230	
外注費	465,870	
広告宣伝費	249,926	
交際費	107,959	
会議費	17,110	
旅費交通費	420,770	
通信運搬費	2,408,012	
消耗什器備品費	530,565	
事務用品費	344,848	
修繕費	227,860	
水道光熱費	595,895	
諸会費	39,089	
支払手数料	274,888	
リース料	1,485,270	
保険料	1,851,030	
租税公課	1,474,000	
支払報酬料	3,241,656	
支払消費税	4,708,300	
減価償却費	4,563,579	
雑費	59,879	
経常収出合計		262,363,675
経常収支差額		9,272,989
経常外収益		282,919
受取利息	319	
雑収入	282,600	
経常外費用		1,120,656
支払利息	1,108,680	
貸倒引当金繰入	11,976	
当期収支差額		8,435,252
法人税等		1,999,145
当期正味財産増減額		6,436,107
前期繰越資金有高		93,748,131
次期繰越収支差額		100,184,238

計算書類の注記

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法 定率法
無形固定資産 定額法

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却をしております

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 32,602,988円

3 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	0	43,314,842	9,695,301	33,619,541
建物付属設備	17,878,900	0	0	17,878,900	12,821,602	5,057,298
構築物	13,507,139	0	0	13,507,139	9,027,834	4,479,305
車両運搬具	3,531,640	3,306,910	0	6,838,550	1,987,475	4,851,075
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
ソフトウェア	2,792,244	0	0	2,792,244	2,637,159	155,085
繰延資産	1,497,016	0	0	1,497,016	1,122,368	374,648
合計	160,351,184	3,306,910	0	163,658,094	37,291,739	126,366,355

4 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	8,544,000	8,544,000	8,544,000	8,544,000
長期借入金	72,144,000	0	8,544,000	63,600,000

特定非営利活動法人ぶらちなくらぶ
理事長 小谷典史 殿

令和元年 5月 15日
特定非営利活動法人ぶらちなくらぶ
監事

鈴木平作

私は令和元年 5月15日、特定非営利活動法人ぶらちなくらぶの事務所において、平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)における業務に対して監査を実施し、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法と概要

- (1)業務監査については、事業計画に基づき議事録綴りその他関係書類を閲覧するほか、理事会およびその他会議に出席し、業務報告を聴取するなど、必要と思われる監査方法により、業務執行の妥当性について監査した。
- (2)会計監査については、収支予算書を参考に、収支について帳簿および関係帳簿並びに証拠書類の閲覧突合せなど必要と思われる監査方法により、計算書類の正当性について監査した。

2. 監査意見

- (1)事業報告書の記載内容は真実なものであることを認めます。
- (2)理事の業務執行について、監査の結果、不正行為または法令、定款に違反する重要な事実はないものと認めます。
- (3)収支計算書、貸借対照表および財産目録は会計帳簿の記録、金額と一致し、当方人の収支状況および財政状態を正しく表示しているものと認めます。

以上

平成31年(2019年)度事業計画(案)

自 平成31年4月 1日
至 令和2年3月 31日

I.事業

1.事業概要

【利用者、職員、地域生活者、全ての人々が自立した社会をめざす】

職員はもとより、子どもから高齢者まで、ひとりひとりが地域に生活する上で、自分ができる事を一つ一つとらえ、生かしながら、自立して社会に関わる事ができるよう、新たな仕組みや、つながりを展開していきます。各事業において、5つの柱を念頭に、一人一人が工夫しながら事業をすすめ、収益の意識をもち、全員が主体者として他者と連携し、社会全体で取り組めるような関わりを持った地域作りを進めます。

(1)利用者本位

・その人らしさを適切に理解し、それを生かすためにできる事に焦点をあて、その人にあった支援方法と計画を立案して、実施しつつ、振り返りながら工夫していく。

(2)職員重視

・職員同士で学び合い、互いを尊重しながら、自己向上や経済的保障を踏まえ、定性的な価値も個別面談やアセッサー等を活用し、きちんと評価していく。

(3)安心と安全

・内外のリスクについてのマネジメント知識を深めると共に、行動抑制や禁止ではなく、利用者/職員自身の対峙するための能力(危険予知、回避、防御など)を組織として深めていく。

(4)地域密着

・他事業、他団体、企業、学校などとの連携を積極的に進め、全ての人々が地域においての自立を継続できるよう、様々な社会資源を活用し、積極的に関わっていく。

(5)独自性

・今現在の実情を正確にとらえ、それを考慮した新しい制度や仕組みを目指して、ひとりひとりができる事を考え、周囲に働きかけて、楽しく幸せに感じられるような社会を作り上げる。

2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績(千円)
介護関連	訪問介護 ・介護保険、訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	20人	足立区内 利用者の のべ300人	17,000
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぶらちな」	24時間毎日	施設及び 利用者宅	17人	のべ 登録250人	67,560
障がい 関連	総合支援 ・相談/総合支援、居宅介護 ・ガイドヘルプ、生活支援(身体 介護・家事援助・外出介護)	24時間毎日	利用者宅及 び介助先	32人	足立区内 利用者の のべ1,100人	88,000
	ぶらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 (送迎時間含)	ぶらちな事 務所1F,2F	10人	足立区内 利用者の のべ3120人	25,000

子育て 関連	子ども預り送迎支援事業 (旧あだち子育て応援隊) ・一時保育	6:00-22:00	利用者宅 サポーター宅	コーディネーター5人 サポーターのべ1,600人	足立区内 利用者のべ 11,000人	46,000
	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00	新田キッズ ルーム (新田3)	6人	登録児童 240人	6,900
		子育てサロン 平日10:00-16:00			足立区内 利用者のべ 4,500人	
	ちびっこガーデン (子育てサロン西新井) ・子育てサロン事業 ・一時預り事業	子育てサロン 9:00-18:00 (閉館日除)	ちびっこ ガーデン (栗原1)	18人	足立区内外 利用者のべ 95,000人	12,100
		一時預り 10:00-16:00 (平日のみ)			足立区内 利用者のべ 900人	
	ポンテポルタ千住 (子育てサロン千住大橋) ・子育てサロン事業	子育てサロン 10:00-18:00 (閉館日除)	ポンテポルタ (千住橋戸町)	7人	足立区内外 利用者のべ 50,000人	6,960
	集団保育事業 ・地域保健センター ・男女参画プラザ集団保育事業 ・区役所各所管	9:00-18:00	区内各保健 センター等	のべ 約200人	足立区内外 利用者のべ 500件	3,700
一時保育独自サービス	6:00-22:00	利用者宅等	のべ 約400人	足立区内外 利用者のべ 700件		

3.事業目標

(1)訪問介護事業/障がい者総合支援事業/相談支援事業

- ・介護事業～総合事業の緩和型への移行、施設等利用増による身体介護の減少の予想。引き続き地域密着、利用者本位を念頭にケアの充実を図り利益率の向上を目指す。
- ・総合/相談支援～担い手の増員・養成とともに新規受け入れ態勢の整備を目指す。
- ・ヘルパー処遇改善として アセッサー評価によるキャリアパス活用、土日祝日の賃金改善、有給休暇の適正な取得を推進する。
- ・業務の効率化、労働生産性の向上を目的に帳票類の電子化に向けて情報収集を行う。
- ・労災事故予防、ヘルパー交流の場として定例会を活用し、話せる場をつくり課題共有を進める。

(2)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・職員一人一人が考え提案したイベント等を実施することを強化し各職員が提案、開催、振り返りを行なう事で「考える事」の成長を促すとともに達成感を得る。
- ・複数職員による小規模多機能事業の周辺への周知活動をおこない、利用者獲得増員を目指す。また、それに向けて各職員が小規模多機能事業をより詳細に理解するよう教育していく。

(3)児童ディサービス

- ・昨年度、定員に達してはいたものの予想外のキャンセルが多く、目標に達しなかった為、まずは利用者を増やし、急なキャンセルがあっても定員を満たすような体制を整える。減算も想定した計画とする。
- ・活動の内容等を通信やブログで発信していく。
- ・地域、他事業所、他事業部と連携し、利用者本位、支援目標を意識し支援をしていく。
- ・足立区子ども部会等の勉強会や研修に参加しスキルアップをしていく。

(4)子ども預かり送迎支援事業(子育て応援隊事業)

- ・コーディネーター体制を整え、担当者以外でもスピーディかつ正確に対応できる人員体制を整える。
- ・処理段階、経過の共有が正確にできる様、関連帳票を整理しフローを見直す。
- ・区からの単価Upに伴い、ベース報酬を見直しつつ、評価制度を整えて適切に特別手当に反映する。
- ・事務作業をタイムリーに処理できる様、報告書提出タイミングを厳守するよう進めていく。
- ・養育支援事業の増加を想定し、スキルUP、教育計画を充実させる。
- ・助け合いからサービスへのシフトを踏まえ、NPOとしての視点を念頭に置き、社会に関わっていく。
- ・広報活動を積極的に進め、紙媒体、Web等を活用するチーム体制を整える。

(5)新田キッズルーム

- ・引き続き、地域の子育て世代と共に、協力運営を進めていく。
- ・初心に帰り、人材連携、企業連携、地域連携を中心としたサロン運営を目指すため、積極的に広報誌、関係性を作り上げる。
- ・西側の子ども預かり送迎支援事業拠点として、コーディネート業務に力を入れつつ、サポーターの育成を進める。

(6)ちびっこガーデン

- ・非常に多数の利用があるサロンを多くのスタッフで支える施設の為、接遇、育児関連知識、リスクマネジメント等の啓発とチーム共有を行う。
- ・地域と連携したイベント開催を進めつつ、情報発信を積極的に行っていく。
- ・区所管、指定管理業者と協力し、情報共有を進めて運営していく。

(7)ポンテポルタ千住大橋サロン

- ・イベント開催を進め、利用者参加型のサロンを目指して場を活用していく。
- ・情報発信としてSNS、Web、紙媒体を活用し、タイムリーに利用者にサロン情報を伝えていく
- ・区所管、他テナントと協力し、情報共有、連携して運営していく。

(8)地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業

- ・多くの区所管からの依頼を正確に安全に対応していくために、子ども預かり送迎支援事業と連携して事業運営を行う。
- ・各所管個別となっている契約形態を統一化できないか、区に申し入れ、検討を進めていく

(9)一時保育独自サービス

- ・ボランティア的に対応できる依頼数を超えてきたのに加え、最低賃金、消費税増税を踏まえ、利用料金体系見直し、電子決済サービスの導入について来年度に施行する準備を行う。

II.組織運営関係全般

- ・アセッサーとキャリアパス制度を積極的に推進し、事業ごとに実態に即した評価制度を導入する。
- ・全体教育計画を効果的に参加受講できるよう、内外の意見を参考に立案実施する。
- ・働き方改革に伴い、有給休暇取得推進、週休3日一部試行、時間単位休暇等を進めていく。
- ・次世代の社会福祉を考慮し、新しい視点の若い世代との交流を推進していく。
- ・職員一人一人が自立して考え行動するためのきっかけとして、プロジェクトBOX設置し、様々な意見に対して自分たちで考え解決する仕組みを活用する。

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
(資金収支の部)		
I. 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		120,000
正会員会費	120,000	
2. 事業収入		273,220,000
介護事業収入	17,000,000	
支援事業収入	88,000,000	
スマイル事業収入	67,560,000	
子育て事業収入	46,000,000	
新田事業収入	6,900,000	
ちびっこ事業収入	12,100,000	
児童デイ事業収入	25,000,000	
千住大橋事業収入	6,960,000	
独自事業収入	3,700,000	
3. 助成金・寄付金収入		500,000
経常収入合計		273,840,000
II. 経常支出の部		
1. 事業費支出		225,000,000
介護事業	20,000,000	
支援事業	65,000,000	
スマイル事業	52,000,000	
子育て事業	38,000,000	
新田事業	6,900,000	
ちびっこ事業	10,000,000	
児童デイ事業	22,000,000	
千住大橋事業	8,800,000	
独自事業	2,300,000	
2. 管理費支出		42,520,000
給料手当	14,000,000	
法定福利費	2,700,000	
福利厚生費	1,900,000	
採用教育費	400,000	
外注費	500,000	
広告宣伝費	200,000	
交際費	100,000	
会議費	50,000	
旅費交通費	500,000	
通信運搬費	2,500,000	
消耗什器備品費	550,000	
事務用品費	350,000	
修繕費	250,000	
水道光熱費	620,000	
諸会費	50,000	
支払手数料	200,000	
リース料	1,500,000	
保険料	1,900,000	
租税公課	1,500,000	
支払報酬料	3,000,000	
支払消費税	5,700,000	
減価償却費	4,000,000	
雑費	50,000	
経常支出合計		267,520,000
経常収支差額		6,320,000
経常外収益		0
受取利息	0	
雑収入	0	
経常外費用		1,000,000
支払利息	1,000,000	
貸倒引当金繰入	0	
当期収支差額		5,320,000
法人税等		1,010,800
当期正味財産増減額		4,309,200
前期繰越資金有高		100,184,238
次期繰越収支差額		104,493,438

理事及び監事選任の件

各理事(4名)及び監事(1名)は、令和元年5月26日を以って任期満了となりますので、新たに理事及び監事を選任したいと存じます。

現在の役員構成

理事長	小谷典史
理事	小柳夏江
理事	中田美奈子
理事	森岡孝之
監事	鈴木晋作

本年度理事及び監事候補者については、次のとおりであります。

- * 理事 小谷典史
- * 理事 小柳夏江
- * 理事 中田美奈子
- * 理事 森岡孝之
- * 監事 鈴木晋作

